

# MYP Unit Planner -MYP 単元計画-

担当教師	山部 智可	教科	Arts(音楽)		
単元名	音や音楽におけるコミュニケーションの役割について	MYP の年次	MYP3(中学3年生)	授業時数 (時間)	25

Inquiry 探究: 単元の目的を確立する

重要概念	関連概念	グローバルな文脈
コミュニケーション	表現・受け手	アイデンティティと関係性: 人間の本质と人間の尊厳

## 探究テーマ

芸術的表現による芸術的意図(人間の本质と人間の尊厳)はコミュニケーションを媒体として受け手に効果的な影響を与えることがある

## 探究の問い

事実的— 音や音楽によるコミュニケーションとは何か

- 芸術的表現による芸術的意図(人間の本质と人間の尊厳)とは何か
- 芸術的表現による芸術的意図(人間の本质と人間の尊厳)を生み出す音楽を形作る要素は何か

概念的— なぜ、芸術的表現は芸術的意図(人間の本质と人間の尊厳)を反映するのか

議論的— 芸術的表現による芸術的意図(人間の本质と人間の尊厳)は、どの程度、コミュニケーションを媒体として受け手に効果的な影響を与えるのか

目標	総括的評価	
<p><u>CriterionA:調査</u></p> <p>A i :探究テーマに関連して、選択した芸術分野のムーブメントやジャンルを調査する</p> <p>A ii :選択したムーブメントやジャンルの芸術作品またはパフォーマンスについて詳しく述べる</p> <p><u>CriterionB:発展</u></p> <p>B i :実践的にアイデアを探究し芸術作品やパフォーマンスの完成に向けた取り組みに活かす</p> <p>B ii :最終的な芸術作品やパフォーマンスについて芸術的意図を探究テーマに沿って明確に提示する</p> <p><u>CriterionC:創作・実演</u></p> <p>C i :芸術作品を創作または実演する</p> <p><u>CriterionD:評価</u></p> <p>D i :自分の芸術作品やパフォーマンスを評価する</p> <p>D ii :芸術家としての自分の成長を振り返る</p>	<p>評価規準を含む総括的評価課題の概要</p> <p>GRASPS</p> <p>(G)Goal 目的</p> <p>音楽表現による芸術的意図は、どの程度、コミュニケーションを媒体として受け手に効果的な影響を与えるのか理解することである。</p> <p>(R)Role 役割</p> <p>アーティスト</p> <p>(A)Audience 対象</p> <p>演奏会を聞きにくる聴衆</p> <p>(S)Situation 状況</p> <p>演奏会を開催するにあたり、作曲家が曲に込めた思いや意図を分析しています。そして、自身が音楽表現するにあたり芸術的意図が受け手にどのように受け止められるのか分析している状態です。</p> <p>(P) Product 成果物</p> <p>楽曲分析・演奏表現・音楽作品を創作すること</p> <p>(S)Standard 評価基準</p> <p>CriterionA:レポート/定期テスト</p> <p>CriterionB:PJ/レポート</p> <p>CriterionC:創作・演奏表現</p> <p>CriterionD:レポート</p>	<p>総括的評価課題と探究テーマとの関係</p> <p>楽曲分析や演奏表現・創作活動を通して音楽表現による芸術的意図は、どの程度、コミュニケーションを媒体として受け手に効果的な影響を与えるのか批判的思考スキルやメディアリテラシースキルを用いて探究する。</p>

<p><b><u>CriterionA:調査</u></b></p> <p>A i :探究テーマに関連して、選択した芸術分野のムーブメントやジャンルを調査する</p> <p>A ii :選択したムーブメントやジャンルの芸術作品またはパフォーマンスについて詳しく述べる</p> <p><b><u>CriterionB:発展</u></b></p> <p>B i :実践的にアイデアを探究し芸術作品やパフォーマンスの完成に向けた取り組みに活かす</p> <p>B ii :最終的な芸術作品やパフォーマンスについて芸術的意図を探究テーマに沿って明確に提示する</p> <p><b><u>CriterionC:創作・実演</u></b></p> <p>C i :芸術作品を創作または実演する</p> <p><b><u>CriterionD:評価</u></b></p> <p>D i :自分の芸術作品やパフォーマンスを評価する</p> <p>D ii :芸術家としての自分の成長を振り返る</p>	<p><b>題材設定:歌唱「花の街」</b></p> <p><b>GRASPS</b></p> <p>(G)Goal 目的 楽曲分析を通して歌唱表現を創意工夫し聴き手に作詞・作曲者の思いや意図を伝えることである。</p> <p>(R)Role 役割 アーティスト</p> <p>(A)Audience 対象 演奏会を聞きにくる聴衆</p> <p>(S)Situation 状況 演奏会を開催するにあたり、作曲家が曲に込めた思いや意図を分析しています。そして、自身が音楽表現するにあたり芸術的意図が受け手にどのように受け止められるのか分析している状態です。</p> <p>(P) Product 成果物 楽曲分析・実演・最終レポート</p> <p>(S)Standard 評価基準</p> <p>A ii :楽曲分析</p> <p>B i :PJシート</p> <p>B ii :最終レポート</p> <p>C i :実演</p> <p>D ii :最終レポート</p>	
--	--	--

<p><u>CriterionA:調査</u></p> <p>A i :探究テーマに関連して、選択した芸術分野のムーブメントやジャンルを調査する</p> <p>A ii :選択したムーブメントやジャンルの芸術作品またはパフォーマンスについて詳しく述べる</p> <p><u>CriterionB:発展</u></p> <p>B i :実践的にアイデアを探究し芸術作品やパフォーマンスの完成に向けた取り組みに活かす</p> <p>B ii :最終的な芸術作品やパフォーマンスについて芸術的意図を探究テーマに沿って明確に提示する</p> <p><u>CriterionC:創作・実演</u></p> <p>C i :芸術作品を創作または実演する</p> <p><u>CriterionD:評価</u></p> <p>D i :自分の芸術作品やパフォーマンスを評価する</p> <p>D ii :芸術家としての自分の成長を振り返る</p>	<p>題材設定:創作活動</p> <p>77期生オリジナル合唱曲のサビを作成する</p> <p>GRASPS</p> <p>(G)Goal 目的 平和をイメージしたサビの旋律を創作し自身の思いや意図を聴き手に伝えることである。</p> <p>(R)Role 役割 クリエイター</p> <p>(A)Audience 対象 演奏会を聞きにくる聴衆</p> <p>(S)Situation 状況 演奏会を開催するにあたり、平和をイメージした曲を創作しています。自身が曲に込めた思いや意図が、より聴き手に伝わるようにサビの旋律をよりインパクトが残るように分析している状態です。</p> <p>(P) Product 成果物 創作・最終レポート</p> <p>(S)Standard 評価基準</p> <p>B i :PJシート</p> <p>B ii :最終レポート</p> <p>C i :創作</p> <p>D i :最終レポート</p>	
--	--	--

<p><u>CriterionA:調査</u></p> <p>A i :探究テーマに関連して、選択した芸術分野のムーブメントやジャンルを調査する</p> <p>A ii :選択したムーブメントやジャンルの芸術作品またはパフォーマンスについて詳しく述べる</p> <p><u>CriterionB:発展</u></p> <p>B i :実践的にアイデアを探究し芸術作品やパフォーマンスの完成に向けた取り組みに活かす</p> <p>B ii :最終的な芸術作品やパフォーマンスについて芸術的意図を探究テーマに沿って明確に提示する</p> <p><u>CriterionC:創作・実演</u></p> <p>C i :芸術作品を創作または実演する</p> <p><u>CriterionD:評価</u></p> <p>D i :自分の芸術作品やパフォーマンスを評価する</p> <p>D ii :芸術家としての自分の成長を振り返る</p>	<p>題材設定:混声 2 部合唱</p> <p>77 期生オリジナル合唱曲の演奏表現を考える</p> <p>GRASPS</p> <p>(G)Goal 目的 77 期生オリジナル合唱曲に込めた自分自身の思いや意図を演奏表現やプレゼンテーションと通して聴き手に伝えることである</p> <p>(R)Role 役割 アーティスト</p> <p>(A)Audience 対象 音楽出版社の人々</p> <p>(S)Situation 状況 77 期生オリジナル合唱曲を音楽出版社の人々にアピールしている状況</p> <p>(P)Product 成果物 合唱曲の楽譜/合唱曲の音源/プレゼンテーションで使うスライド</p> <p>(S)Standard 評価基準 プレゼンテーションで使うスライド (A ii、B ii、D i、D ii)</p> <p>A ii :77 期生オリジナル合唱曲における曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて詳しく述べる</p> <p>B ii :曲にふさわしい演奏表現を創意工夫するために音楽を形作っている要素と芸術的意図を明確に提示し説明する</p> <p>D i :この曲の最大の魅力を分析する</p> <p>D ii :自身が考える音楽を媒体として聴き手に与える影響力について分析する</p>	
--	---	--

## 学習へのアプローチ (ATL)

### [思考—批判的思考スキル]

- ・議論を形成するために関連する情報を集め、整理する
- ・合理的な結論や一般論を導き出す

①批判的思考スキルの(議論を形成するために関連する情報を集め整理する)スキルを使用して、音楽表現するにあたり芸術的意図が受け手にどのように受け止められているのか分析する

②批判的思考スキルの(合理的な結論や一般論を導き出す)スキルを使用して、コミュニケーションとしての音楽の要素を根拠を持って特定させる

### [メディアリテラシースキル]

- ・さまざまな資料やメディアから情報を見つけ、整理し、分析し、評価し、統合し、そして論理的に用いる

## Action 行動: 探究を通じた学習と指導

内容	学習プロセス		
	学習経験と指導方法	形成的評価	差異化した指導
<b>歌唱 歌「花の街」 6 時間</b> ・1～2 時間目 楽曲分析 ・3～4 時間目 演奏表現の工夫 ・5～6 時間目 実技テスト 最終レポートの作成	<b>(1・2 時間目) 楽曲分析</b> 曲想から作詞・作曲者がこの曲の込めた思いを考察し、曲にふさわしい演奏方法を考える。 <b>(3・4時間目) 演奏表現の工夫</b> 考察→実演→検証を繰り返し行う。また、協働学習を行い自他の演奏を客観的に聴き合い、意見交流を行い、自分の演奏に修正を加えていく。この曲にふさわしい演奏方法を試行錯誤しながらどのように歌ったらいいのか考える。 <b>(5・6時間目)実技テスト</b>	楽曲分析ワークシートの提出  歌唱表現変容シートの提出  自他の演奏を客観的に聴き、演奏表現の工夫や歌い方の工夫をどのように考えているのかチェックし、参考になる意見を全体でシェアする。	原曲の音域と自分が歌っている声の高さが合わない場合は、自分が歌える音の高さで歌うように声かけを行う。

<p><b>創作活動 7時間</b></p> <p>77 期生オリジナル合唱曲のサビの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1 時間目 リズム創作</li> <li>・2時間目 4 小節分の旋律の創作</li> <li>・3～5時間目 8 小節分のサビの旋律の創作</li> <li>・6～7時間目 最終レポートの作成</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>最終レポート作成</b></p> <p>最終レポート内容</p> <p>①自分がどのようにこの曲を演奏しようと考えているのか、作詞・作曲者の心情や時代背景を基に自分の考えを述べる。</p> <p>②実技テストを終えて、歌詞の表す心情を聴き手に伝える歌唱表現が出来たのかどうか、また、どのように歌唱表現を工夫すると、より聴き手に伝わるのか自分の考えを述べる。</p> <p>(1 時間目)リズム創作 拍子・音符・休符の復習</p> <p>1 拍分→2 拍分→4 拍分のリズム作成する。条件として自分が実演出来るリズムを作らせる。次に 4 分の4拍子の 1 小節分のリズムを作る。最後に 2 小節分のリズムを反復バージョンと変化バージョンを作らせる。</p> <p>(2 時間目)4 小節分の旋律の創作 教科書「中学生の音楽Ⅰ」 My Melody より</p>		<p>実技テストの日に欠席した生徒は、別日に実施。</p> <p>音符や休符を数字に置き換えて計算するように声掛けする。また、自分が知っている音符や休符を用いてリズムを作成するように声掛けする。</p>
--	---	--	---

	<p>旋律の法則「順次進行・跳躍進行」に基づいて4小節分のまとまりのある旋律を作らせる。前回作成した2小節分のリズムを組み合わせて1部形式で作らせる。また、楽譜に記されたコード進行に基づいて和声の調和を意識して作らせる。</p> <p>(3～5時間目)</p> <p>8小節分のサビの旋律の創作</p> <p>教科書「中学生の音楽2・3年下」</p> <p>My Melody より</p> <p>前回作成した4小節分のメロディーから2倍の長さの8小節分を作らせる。形式は2部形式。サビを意識した旋律になるため、曲の中でサビがどのような役割をしているのか生徒が知っている曲を流しながら確認をする。そして、8小節の旋律の中で山場はどこなのか、エモイポイントを必ず作ることを意識させる。また、前回と同様、楽譜に記されたコード進行に基づいて和声の調和意識して作らせる。</p> <p>(6～7時間目)最終レポート</p> <p>最終レポートの内容</p> <p>①8小節分の旋律</p>	<p>教科書提出</p> <p>生徒が作成した4小節分の旋律をチェックする。チェックするポイントとしては、旋律の法則に基づいて作れているか。和声の調和を意識できているか。1部形式を用いて、まとまりのある旋律になっているか。の3点。教科書に直接、コメントを書いて返却する。</p> <p>教科書提出</p> <p>生徒が作成した8小節分の旋律をチェックする。チェックするポイントとしては、旋律の法則に基づいて作れているか。和声の調和を意識できているか。2部形式を用いて、まとまりのある旋律になっているか。サビを意識して山場やエモイポイントを作れているかの4点。教科書に直接、コメントを書いて返却する。</p>	<p>自分の作った旋律を実際、音を出して確認させる。その時にキーボードを用いるが、そのキーボードに階名シールを貼って鍵盤楽器に馴染みがなくても、実演できるように配慮する。</p> <p>旋律の作成に苦戦している生徒には、個別に声をかけて指導する。</p>
--	--	---	---



<p><b>鑑賞 連作交響詩「ブルタバ」 2 時間</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1 時間目 作曲者が生きた時代背景と当時の音楽の存在価値について考える</li> <li>・2 時間目 スメタナがこの曲に込めた思いや意図を知覚と感受の関わりから考える</li> </ul> <p><b>歌唱 合唱曲「77 期生オリジナル合唱曲」</b></p> <p>の演奏表現を考える 10 時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1 時間目 楽曲分析/各パート音取り</li> <li>・2 時間目 楽譜に記された演奏表現について考える</li> </ul>	<p>アプリ「Flat」を用いて旋律を完成させる。楽譜を PDF/音源を MP3 に変換して提出</p> <p>②あなたが考える平和について述べる</p> <p>③自分が作成した 8 小節のサビの旋律について聴き手に平和をイメージしてもらうために「リズムを工夫した点」「旋律を工夫した点」を述べる。</p> <p>④自分が作った 8 小節のサビの旋律の一番の聴かせどころを述べる。</p> <p>(1 時間目)</p> <p>この曲の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史について理解すると同時にこの曲の曲想と音楽の構造について学ぶ。</p> <p>(2 時間目)</p> <p>この曲を通して生活や社会における音楽の意味や役割について考え作曲者スメタナがこの曲に込めた思いや意図を考える。</p> <p>(1 時間目) 楽曲分析</p> <p>曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解する。また、合唱における各パートの役割を考える。</p>	<p>鑑賞ワークシートの提出</p> <p>生徒が書いた意見に対してコメントを書いて返却する</p>	
---	--	--	--

<p>・3 時間目 サビをより印象づけるために楽譜に記されていない演奏記号や言葉による表現方法を考える</p> <p>[本時]</p> <p>・4 時間目 中間発表</p> <p>前時、班で考えた「サビをより印象付ける歌唱表現」が、より効果的に聴き手に伝わるように他の班の歌唱表現を参考にして考える。</p> <p>・5 時間目 最終発表</p> <p>各班が考えた歌唱表現をクラスで鑑賞・実演しクラスとしての歌唱表現を考える。</p> <p>・6 時間目 各クラスで考えた演奏表現を実演し最も曲にふさわしい演奏表現を考える</p> <p>・7～8 時間目 合唱曲の魅力を伝えるスライドの作成</p> <p>・9～10 時間目 発表</p>	<p>各パート音とり</p> <p>自分が担当するパートの音を覚える。</p> <p>2 部で合わす時に全体の響きや各声部の声を聴きながら他者と合わすことを意識する。</p> <p>(2時間目)</p> <p>A メロ・B メロ・サビ1・サビ2をどのように演奏表現するのか「イメージしたこと/感じたこと」から「なぜそのように感じたのか」楽譜に記された演奏記号から各パートどのように演奏表現したら曲にふさわしい演奏表現になるのか、前半、個人で考え、後半、班で意見交流を行う。拡大楽譜に班で出た演奏表現を記入していく。</p> <p>クラス全体でシェアすることに意義のある班の意見をピックアップして全体で実演する。</p> <p>(3時間目)</p> <p>(個人作業)</p> <p>楽譜にまだ記されていない演奏記号や言葉による表現方法を付け加えて最も曲にふさわしい演奏表現を考える</p> <p>サビを最も印象づけるために、Aメロ・Bメロ・サビ1・サビ2、4つの部分から1つに絞って演奏表現を考える。</p> <p>(班活動)</p>	<p>演奏表現ワークシート(個人)の提出。演奏表現の工夫と各パートの歌い方の工夫。この2点を中心にコメントを書いて返却。</p> <p>班活動が中心になるため PJ シートに個人が買った内容に対してコメントを書いて返却。</p>	<p>各パートの音源を全員に配布。自主練習をするように全体に声掛けする。</p> <p>意見の交流が弾まない班に対して考えやすい部分から意見交流してもいいし、些細な意見をピックアップするように声掛けする。</p>
--	---	--	--

	<p>班のメンバーと意見交流をして、最も曲にふさわしい演奏表現を考える。実演を繰り返し行いながら、班の意見を要約してまとめる</p> <p>各班が書き込んだ拡大楽譜を参考にしながら、クラス全員で実演する。</p> <p>(4 時間目) 本時</p> <p>(班活動)</p> <p>参考にしたい班の歌唱表現を実演し「サビをより印象付けるための歌唱表現」が聴き手により効果的に伝わるようにどのように工夫したらよいのか考え、実演していく。</p> <p>「工夫しようと思った点」「工夫しようと思った理由」を中心にホワイトボードと拡大楽譜に書いていく。</p> <p>(クラス全体)</p> <p>クラスにとって参考になると考えられる班の歌唱表現を紹介し実演する。</p> <p>[演奏者]</p> <p>前回の歌唱表現をベースにし「工夫しようと思った点」「工夫しようと思った理由」を中心に発表→実演</p> <p>[聴き手]</p> <p>演奏を聴いて「どのように感じたのか」意見を述べる。</p>		<p>個人で考えることが難しい場合は班の意見を聞きながらイメージを作っていくように声掛けする。</p>
--	---	--	---

	<p>クラス全体で実演する。</p> <p>(5時間目)</p> <p>(鑑賞)→(実演)</p> <p>各班が考えた歌唱表現を発表。クラス全体で実演しクラスとしての歌唱表現を確定させる。</p> <p>(6時間目)</p> <p>他クラスが考えた演奏表現を実演して「77期生オリジナル合唱曲」として最もふさわしい演奏表現についてアンケートを取る。</p> <p>(7～8時間目)</p> <p>「77期生オリジナル合唱曲」の魅力を伝えるスライドを作成する。この合唱曲は77期生145人一人ひとりの作品なので、個人が考える演奏表現に対して思いや意図を伝えることの重要性を確認する。</p> <p>(9～10時間目)</p> <p>スライドの発表。自分自身がこの曲を通じてこの曲の魅力を中心に何を発信したいのか、どのようなメッセージを伝えたいのか聴き手に明確に伝えることを確認する。</p>		
--	--	--	--

## リソース

- ・中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 音楽編 平成29年7月 文部科学省
- ・「指導と評価の一体化」のために学習評価に関する参考資料 中学校音楽 令和2年3月 文部科学省 国立教育政策研究所
- ・中等教育プログラム MYP:原則から実践へ
- ・中等教育プログラム(MYP)「芸術」指導の手引き

## Reflection 振り返り: 探究の計画と過程、影響を考える

単元の指導前	単元の指導中	単元の指導後
<p>第3学年は、一年間を通して「音楽の持つ力、発信力」について探究していく。なぜ、この題材に取り組むのか、どのような意味や意義があるのか、また、自身が音楽を通して発信することは我々の生活や社会にどのような影響を与えるのか、学びの連続性と実感を伴った指導を心掛けると共に生徒に粘り強く考え続けるきっかけを与えたいと考えている。</p>		